

## 4.2 Web システム

柿原 春美、高瀬 亘、村上 晃一、橋本 清治、  
柴田 章博、八代 茂夫、飯田 好美

### はじめに

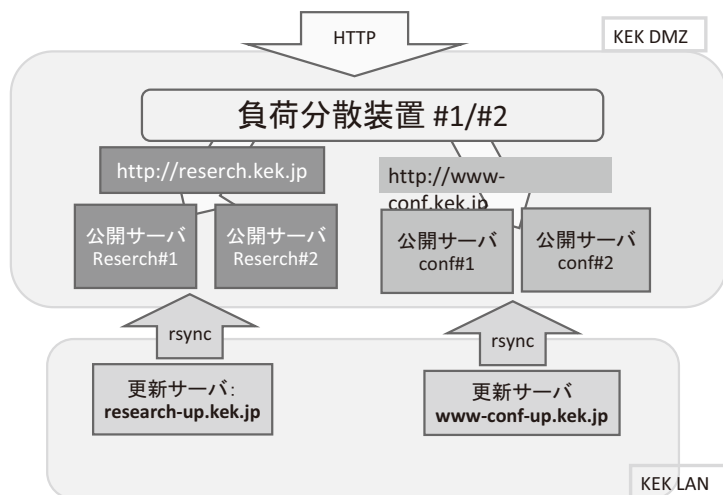
計算科学センターが運用する Web システムには、研究情報 Web システム、コンファレンス Web システム、KDS 会議支援システムおよび Wiki システムがある。また広報室が運用する機構 Web システムに関してはハードウェアおよび基本ソフトウェアレベルでの支援を行っている。本節では研究情報 Web システム、コンファレンス Web システムおよび機構 Web システムについて報告する。

2011 年度にはシステム更新があり、これを期にシステムの見直しと運用の見直しを行った。また、システム担当者も前システムは柿原春美、高瀬亘、飯田好美、村上晃一、橋本清治、八代茂夫、新システムは柴田章博、八代茂夫、飯田好美と交代した。

### 4.2.1 システム更新

#### 4.2.1.1 研究情報 Web システム、コンファレンス Web システム

更新用サーバを機構内におき、公開用サーバを DMZ に配置するという基本構成は継承した。公開用サーバには負荷分散装置を導入し、1 台のサーバが停止しても情報発信を継続できるようにした。



OS は Linux に変更した。データ領域は、研究情報 Web システムには総容量 1800GB あり、各グループに 100GB、個人には 1GB を上限値に設定している。コンファレンス Web システム

では総容量 450GB あり、各グループに 512MB を上限値に設定している。

更新用サーバの移行は、ユーザ・アカウントは新システムへ引き継ぎ、公開コンテンツは新システムに移行した。ユーザのホームデータはシステム側では移行を行わずに、必要なユーザが各自行なうことにした。

システム更新を機に、ユーザ・アカウントの整理を行なった。整理に伴い、利用代表者が無効アカウントのプロジェクトのページ（研究情報 Web システム）や会議ページ（コンファレンス Web システム）、無効アカウントのユーザの個人ページが明確になった。これらのページの整理はシステム更新が一段落した後に行なうことにした。

#### 4.2.1.2 ファイルのアクセス権限変更

システム更新を機に、更新用サーバ内でのファイルの保護機能強化の設定を行なった。

Web 上でパスワード等でアクセス制限をかけていても、サーバにログインしたユーザはファイルの参照ができていた。アクセス権限の設定を見直すことによって、別グループのログイン・ユーザが参照できない設定に変更した。

- 研究情報 Web のユーザ領域

本人とシステム管理者のみがアクセスができるようにした。

所有者 owner = 各ユーザ、owner group = apache

アクセス権限 drwxr-x---

- 研究情報 Web のグループ領域

同一グループのユーザとシステム管理者のみがアクセスができるようにした。

所有者 owner = root、owner group = グループ

アクセス権限 drwxrws--T

- コンファレンス Web の領域

同一グループのユーザとシステム管理者のみがアクセスができるようにした。

所有者 owner = root、owner group = グループ

アクセス権限 drwxrws---

#### 4.2.1.3 移行の日程

移行は以下のの日程で行なわれた。

- 1月10日新更新サーバのアカウントの発行
- 1月10日（月）～2月3日（金） 新サーバ上でのコンテンツの確認期間。
- 1月27日（金） ユーザ登録・グループ登録の凍結
- 2月3日（金） 18:00 新旧の更新サーバ停止
- 2月6日（月） 10:00 公開サーバの切り替え
- 2月6日（月） 13:00 新更新サーバの運用開始  
ユーザ登録・グループ登録の再開

- ・ 3月5日（月） パスワードを更新しなかったユーザのパスワードの初期化

## 4.2.2 機構 Web システム

機構 Web システムは広報室が CMS などの導入を行い、管理運用をおこなうということで、計算科学センターでは OS および apache など基本ソフトの導入までを担当した。

サーバの配置は研究情報 Web システムと同様で、更新用サーバを機構内におき、公開用サーバを DMZ におき、公開用サーバは負荷分散装置を経由してアクセスされる。

## 4.2.3 運用

研究情報 Web システムの利用資格および利用可能な範囲について、随時見直しをおこない、システムの更新時には大幅な申請書の改定を行なった。

- ・ 利用申請の要件をアカウント申請の様式から、ページ開設の及びページ編集者の登録の申請の様式に変更。
- ・ プロジェクトページの開設と、プロジェクトへの参加の区別を明確化した。
- ・ 個人ページ作成の有無を選択できるようにした。従来は個人ページ領域を無条件に作成していた。
- ・ 利用資格と利用可能な範囲の関係を明確にした。
- ・ 利用資格の確認を、KEK 職員については KEK 身分証明書を計算科学センター受付に提示してできるようにした。

学生の利用について検討をした結果、KEK が受け入れている期間は利用できることにし、学生用の index ページを新たに作成した。

## 4.2.4 統計情報

### 4.2.4.1 各システムの登録アカウント数

各システムの登録アカウント数は2012年3月末時点で以下のようになっている。

Web システム関連 active ユーザ&グループ数(2012年3月30日時点)

○研究情報 Web システム

アカウント数 : 206 件

グループ数 : 137 件

特に研究プロジェクトのページには、スーパーB ファクトリー、J-PARC ハドロンビームライングループ等の78グループの研究情報が掲載されている。

また研究者・技術者個人のページ、にも26人がホームページを公開している。

また今期は利用資格の一部見直しをして、共同利用者あるいは協力会社派遣員はプロジ

ェクトページの管理者の承認により、プロジェクトページを更新できるアカウントを作成できるようになった。

○ConfWeb システム

アカウント数：64 件

グループ数：93 件

○機構 Web システム

※広報室に移管したため集計できず。

○WebCC システム（計算科学センター関連）

※研究情報 Web に統合したためそちらに含まれたので個別には集計できない。

#### 4.2.4.2 機構 Web の統計情報

広報室が運用している機構 Web では、ホームページのデザインが 2011 年 9 月より一新され CMS を利用した新しい表示に模様替えされた。また当 Web のホームページの 2010 年のアクセス状況に関していえば、アクセス状況としては最高値は 2011 年 3 月の約 110 万ページ/月（最低は 11 月の約 12 万ページ/月）であった。国別では、日本からのアクセスが 60% を占めている。組織的にも kek.jp が 60% 程である。またセンターで作りにこみしている、会議とセミナー登録システムもほぼ毎日頻繁に利用されていた。

<以下機構WEBの統計情報>

解析対象期間：

2011年1月01日(土) 00時00分 ～ 2011年12月31日(土) 23時59分 (365.00日).

<月別統計>

全体のアクセスページ (KEK外からのアクセスページ)

2011年	1月	630839	(527648)
2011年	2月	662500	(551892)
2011年	3月	1109765	(1010735)
2011年	4月	877389	(752516)
2011年	5月	724502	(609796)
2011年	6月	757056	(636209)
2011年	7月	915778	(795809)
2011年	8月	740348	(632391)
2011年	9月	463467	(376338)
2011年	10月	304696	(210830)
2011年	11月	125982	( 95885)
2011年	12月	319130	(229759)

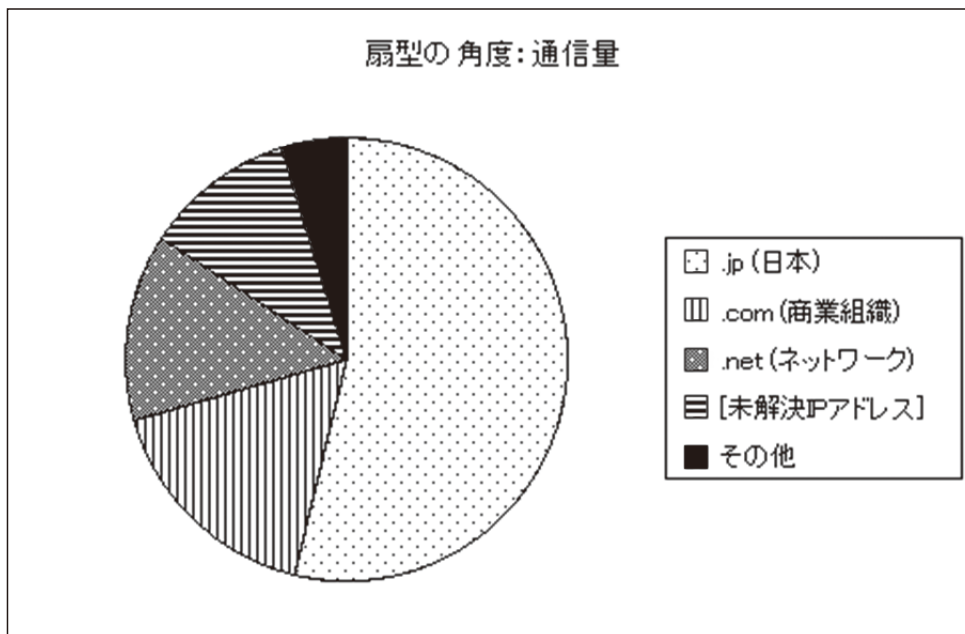
最も混雑した月：2011年3月 (1,109,765 ページリクエスト件数)

<KEK ホームページへの国別アクセス状況>

解析対象期間：

2011年1月01日(土) 00時00分 ~ 2011年12月31日(土) 23時59分 (365日).

このレポートは、リクエストしたコンピュータの国別(組織別)統計を表します。



<KEK ホームページへのドメイン別アクセス状況>

解析対象期間：

2011年1月01日(土) 00時00分 ~ 2011年12月31日(土) 23時59分 (365日).

このレポートは、リクエストをしたコンピュータのドメインの統計を表します。

